



今週から 12 月、今年も残すところあとわずかとなりました。そこで今年 1 年を振り返り、お子様が成長した点、がんばった点などについて、お子様と一緒にご確認ください、来年に向けての励ましをお願いします。

さて、海外で確認されたコロナ新変異株オミクロン株が国内でも複数件確認されるなど、新型コロナウイルスについての心配は尽きませんが、佐野市内においては 11 月 12 日以降、感染者の確認はなく、落ち着いた状況にあります。

本校でも今週は約 1 年 9 か月ぶりに体育館に全校生徒が集まる行事が実施できるなど、着実に通常の学校生活に戻りつつあることを実感しています。

◇吹奏楽部発表会・生徒会主催〇×クイズ大会

11 月 30 日(火)、体育館に全校生徒が集まり、吹奏楽部発表会と〇×クイズ大会が行われました。この発表会は今年度の群竹祭(学校祭)が中止となり、吹奏楽部の発表の機会がなかったことから企画されたもので、併せて生徒会主催による〇×クイズ大会も企画されました。

他の部活動同様に吹奏楽部も 8 月以降は部活動休止期間が続き、更には市学校音楽祭が中止となるなど十分な活動はできませんでした。しかし今回はこれまでの練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい演奏を披露することができました。久しぶりに体育館に全校生徒が集まったの学校行事、生徒たちは大いに楽しい時間を過ごすことができたようです。

今後も新型コロナウイルスやインフルエンザの感染状況に注視しながら、このように全校生徒が集まる活動の機会を順次増やしていく考えです。



◇来週は第 2 回校内人権週間

12 月 10 日は世界人権デーです。そこで本校では来週 12 月 6 日(月)から 10 日(金)までを第 2 回校内人権週間とします。この期間には、人権に関連する様々な学習を道徳や学級活動等を行うとともに、保護者の皆様にもご参加いただく人権講演会(講師は前校長 〇〇 〇〇 先生)や人権に関する作文の発表などが予定されています。せっかくの機会ですので、ご家庭でも人権の大切さについて話題にさせていただくようお願いいたします。

※改めて人権とは、人権教育とは

ご承知のとおり、人権は人間の尊厳に基づく人間固有の権利であり、社会を構成するすべての人々が個人として生存と自由を確保し、社会において幸福な生活を営むために欠かすことのできない権利のことです。

しかし、自分のことだけを考え、権利を主張すると、対立や争いごとが起きたり、特定の人が辛い思いをしたりするなど、様々な問題が起きます。そのため、自分の人権のみならず他の人の人権についても正しく理解し、一人一人が自らの権利の行使に伴う責任を自覚して、互いに人権を尊重し合うこと、すなわち、人権の共存の考え方が必要です。これを人権尊重の理念といいます。学校ではこの人権尊重の理念に対する理解を深め、学年の成長段階に応じて、着実に身に付けていくことを目的に様々な学習を行います。これを人権教育といいます。

※人権を尊重するとは

法務省の資料では、人権を尊重する(守る)ということをや平易な表現で説明すれば、「命を大切にすること」、「みんなと仲良くすること」と示されています。

小学校6年社会の憲法の学習で基本的人権の尊重について学びますが、中学校においても、人権尊重の理念について、発達の段階に応じてじっくり系統的に学び理解を深めることが大切です。本校では昨年度までの3年間、佐野市教育委員会から「人権教育研究学校」の指定を受け、「生徒一人一人にとって明日が待たれる学校の創造 ～自己肯定感の高揚とよりよい人間関係の構築を目指して～」を研究主題として様々な実践を行ってきております。

◇佐野市総合学力調査(1年)

12月3日(木)、1年生を対象に佐野市総合学力調査が実施され、併せて2・3年生の実力テストも実施されました。

ところで、4月に実施されたとちぎっ子学習状況調査(小5・中2)、全国学力・学習状況調査(小6・中3)の佐野市の結果から、各教科の正答率と児童生徒の生活習慣に



次のような相関があると分析されました。

- 平日の授業以外の時間や学校が休みの土曜日・日曜日の学習時間が長い児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。
- テレビゲーム等(携帯ゲーム機やスマートフォンのゲーム)をしている時間が少ない児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。
- 朝食を毎日食べている児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。
- 家庭に本が多くある児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。(※抜粋要約)

ゲームや学習時間については当然の結果ですが、毎日朝食を食べるなど基本的な生活習慣を確立することの大切さが数値的にも明らかになっております。